

第67回

岡大サイエンスカフェ



OKAYAMA UNIVERSITY

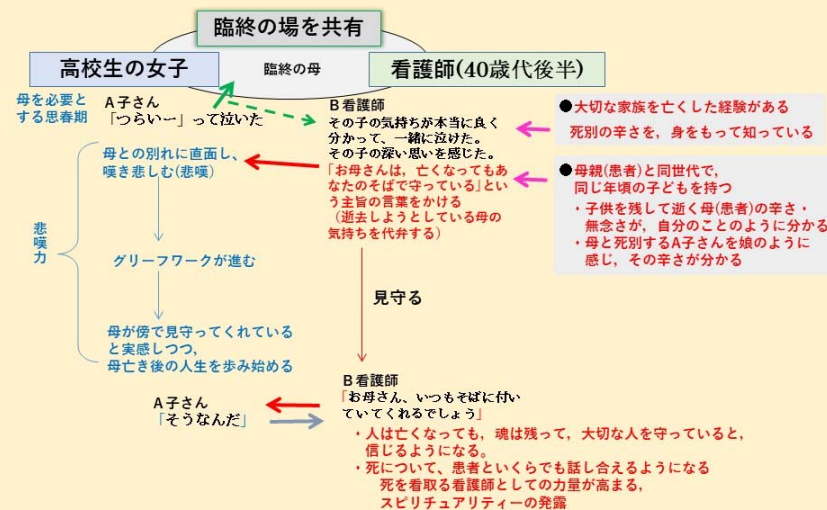
お母さんががんになった時 — 幼い子どもをもつ女性がん患者と そのご家族への支援 —

講師 岡山大学大学院保健学研究科 看護学分野 准教授 近藤 真紀子

がんは治る病となりましたが、依然として予後の厳しい場合があります。未成年の子どもを持つお母さんががんになった時、死を意識せざるを得ない状況になった時、家族の中で何が起ころのでしょうか。がん罹患したお母さんは何を思い、病気の妻と幼い子どもを抱えるお父さんは何に悩み、幼くして母親との別れを余儀なくされる子ども達にはどんな影響があるのでしょうか。闘病生活を支える中で得られた貴重な語りの分析結果を紹介し、どのように支援すれば良いのかを考えたいと思います。



ナースのサポートを得て、母親の死を乗り越えたA子さん



近藤真紀子(著)、浅野美智恵、佐藤禮子(監)：絵で見るターミナルケア[改訂版]、学研、2015

幼い子どもを残して逝く母親の苦悩

- 生き方の変化に直面
- 夫に対する女性性喪失の危機
- 家族のお荷物
- 母親としてのアクティビティの喪失
- 逆縁の親不孝
- 死が迫る中で希求する夫と母の愛・子どもの光・神の愛
- 愛着あるわが子を残して逝く忍び難さ
- 愛し合う夫や子どもにも分かり得ない深い苦しみ
- 存在そのものが家族の灯であるという価値の喪失

近藤真紀子、佐藤禮子：未成年の子どもの持主ががん罹患で死を恐るる 壮年期女性の抱く喪失感、臨床衛生学16(1)、90-101、2011

子どもと共に残される父親の苦悩

- 死に逝く妻がかげがえのない愛おしい存在であるが故の苦悩
- 夫婦で築き上げてきた幸せの象徴としての家庭を失う苦悩
- 妻に迫る死の脅威に晒される苦悩
- 子供のいる家庭生活を一人で維持する困難さの苦悩
- 母親を失う子供の父親になる困難さの苦悩
- 孤立無援だと感じる苦悩
- 亡き妻を支えとすしかない苦悩

近藤真紀子、佐藤禮子：未成年の子どもの持主ががん罹患で死を恐るる 壮年期女性の抱く喪失感、臨床衛生学16(1)、90-101、2011

参加者募集

- ◆開催日時
平成30年6月18日(月) 午後6:00~7:30
- ◆開催場所
岡山大学創立五十周年記念館
- ◆申込先
岡山大学研究推進産学官連携機構
TEL :086-251-7112 FAX :086-251-8467
E-mail: sciencecafe@okayama-u.ac.jp
http://www.orpc.okayama-u.ac.jp/event/sciencecafe_02.html
- 氏名・連絡先・車で来られる方はその旨を明記ください
- ◆締め切り 平成30年6月13日(水) 午後5時
- ◆参加費 無料
- ◆問い合わせ先
研究推進産学官連携機構 島本・松田
TEL: 086-251-7112



本催しは岡山県生涯学習大学連携講座として登録されております
社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも